

株式会社日本農業サポート研究所 令和7年度事業実績

年	月	事業内容
2025年	5月下旬	農林水産研修所つくば館で実施された「令和7年度 階層別研修（新任普及指導センター所長研修）」（オンライン）において、弊社代表福田浩一が「農業DXの現状とAI時代の普及活動」と題して講演を行った。全国の都道府県から新任の普及指導センター所長73名が参加した。
	5月下旬	弊社代表福田浩一が執筆した「日本とアジアのスマート農業の将来像」を紹介するデジタル小冊子が、アジア生産性機構（APO）から公開された。日本とアジアにおけるスマート農業の導入事例と今後の展望をまとめたものである。
	6月中旬	秋田県秋田市カレッジプラザで「秋田県立大学スマート農業指導士育成プログラム」の研修会が開催され、弊社代表福田浩一が「スマート農業の現状とAI時代の指導活動」と題して講演を行った。普及指導員、JA、生産者、地域おこし協力隊員等約30名が受講した。
	7月下旬	新潟県魚沼地域振興局農業振興部普及課主催の「令和7年度 第1回 普及活動におけるAI技術活用研修会」が開催され、弊社代表福田浩一がオンラインで講師を務め、AIの基礎知識・最新動向およびAIツールを使った資料作成の演習を行った。魚沼地域の普及指導員等11名が対面、近隣2地域振興局から13名がオンラインで参加した。
	8月上旬	令和7年度くまもと農業アカデミー講座の一環として「農業経営に役立つ生成AI実践講座」が開催され、弊社代表福田浩一が国内外の事例を用いてDX・AIを活用した農業経営について説明した後、生成AIの実習を行った。生産者を中心に約30名が参加した。
	10月上旬	JICA筑波「2024年度稲作技術向上（普及員）コース」研修で、弊社代表福田浩一が「農家支援のためのスマート農業」の講演を行うとともに、生成AIを活用したアクションプランの作成実習と発表を指導した。海外農業開発協会（OADA）が実施し、アフリカから計13名の研修員が参加した。
	10月下旬	農林水産研修所つくば館が実施した「品目別研修Ⅱ（園芸）」（10月22日、オンライン、約130名）および「人材育成担当者研修」（10月28日、対面、13名）において、弊社代表福田浩一がそれぞれ「海外のスマート農業と農業支援サービスの現状」「今後の普及指導員に求めること」と題して講義を行った。
	11月下旬	北海道札幌市で「令和7年度みどりの食料システム戦略研修（環境負荷低減に係る指導力養成研修）」が開催され、弊社代表福田浩一が2日目に講師として「みどりの食料システム戦略の推進に向けた効率的な普及活動」について講演するとともに、グループ討議の助言を行った。地域で中心的役割を担う普及指導員26名が参加した。
	12月中旬	島根県出雲市で、島根県農業改良普及職員協議会と島根県農業技術センターの共催により「令和7年度 島根県農業改良普及職員協議会研修会」が開催され、弊社代表福田浩一が「AI時代の普及活動はどうあるべきか ～生成AIの可能性とその限界～」と題して講演およびデモンストレーションを行った。研究員・普及指導員あわせて約40名がハイブリッド形式で参加した。
2026年	1月上旬	徳島市立考古資料館研修室で「令和7年度スマート農業研修会」が開催され、弊社代表取締役福田浩一が「農業経営にすぐ役立つDXと生成AIとは？」と題して講演を行うとともに、参加者による生成AIの操作実習を実施した。農業者・研究者・普及指導員・営農指導員など15名が参加した。
	1月中旬	JICA「2025年度課題別研修 農業・農村DX／スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成(A)」で、弊社代表福田浩一が「日本の普及組織JAおよび生成AI利用」について講演した。日本国際協力センターが受託して実施し、アジア・アフリカ9カ国から中央省庁・地方自治体等に所属する研修員10名が参加した。
	2月中旬	北海道大学学術交流会館で「令和7年度北海道農業普及研究大会」が開催され、弊社代表福田浩一が「変化への挑戦 ～農業を取り巻く変化に普及はどう対応するか～」と題して講演を行った。オンラインを含め普及職員を中心に全道から300名以上が参加した。
	2月下旬	神奈川県立かながわ農業アカデミーでスマート農業研修が開催され、弊社代表福田浩一が「農業経営にすぐ役立つスマート農業・生成AIとは？」と題して講演を行い、後半は参加者が各自のスマートフォンで生成AIの実習を行った。生産技術科2年生・技術専修科生 計約40名が参加した。
	3月上旬	栃木県鹿沼市で「令和7年度上都賀地方青少年クラブおよびニューファーマーカレッジ専門部等合同研修会」が開催され、弊社代表福田浩一が「農業経営にすぐ役立つスマート農業と生成AIとは？」と題して講演を行った。生産者・関係機関職員・普及指導員約15名が参加した。
	3月中旬	奈良県農業研究開発センターで「令和7年度 奈良県環境保全型農業推進研修会」が開催され、弊社代表福田浩一が「環境保全型農業のこれから 一持続可能な農業を支えるAIの世界～」と題して講演を行い、参加者が各自のスマートフォンで生成AIの実習を行った。生産者を中心に31名が参加した。
	3月下旬	宮城県仙台市で、APO（アジア生産性機構）主催の「農業分野におけるAI活用」に関する国際研修が開催され、弊社代表福田浩一が3名のリソースパーソンの一人として登壇し、日本におけるAI活用の現状について講演するとともに、現地視察および研修総括のコメントを行った。アジア15カ国から20名が参加した。